昭和十二年 自十二月十日 至十二月十三日 第十中隊南京附近戰闘詳報抜萃

戰闘	我兵力	敵兵力
戰闘時間	指揮官 大隊長信沢佐 中隊長代理 矢島少尉	指揮者不明
行動開始 十二月十日 午前十時	兵力編組 指揮班 名 第一小隊 名 第二小隊 名 第三隊 名 計一三九名	十日 約四〇〇名 十一日 約六〇〇名 十二日ー十三日 約一〇〇名 計二一〇〇名
交戰時間 十二月十日 自午前十時三分 十二月十三日 至午前四時一〇分		

使用弾薬数		敵ノ損害及鹵獲物件等	
小銃	二九九七七發	遺棄死体	五〇〇個
軽機関銃		鹵獲物件	
拳銃	二二〇發	自動小銃	一挺
手榴弾		小銃	二〇挺
擲弾筒	三一七發	小銃弾	數萬發
発煙筒	一六九箇	手榴弾	二〇〇發
		迫撃砲弾	九〇發

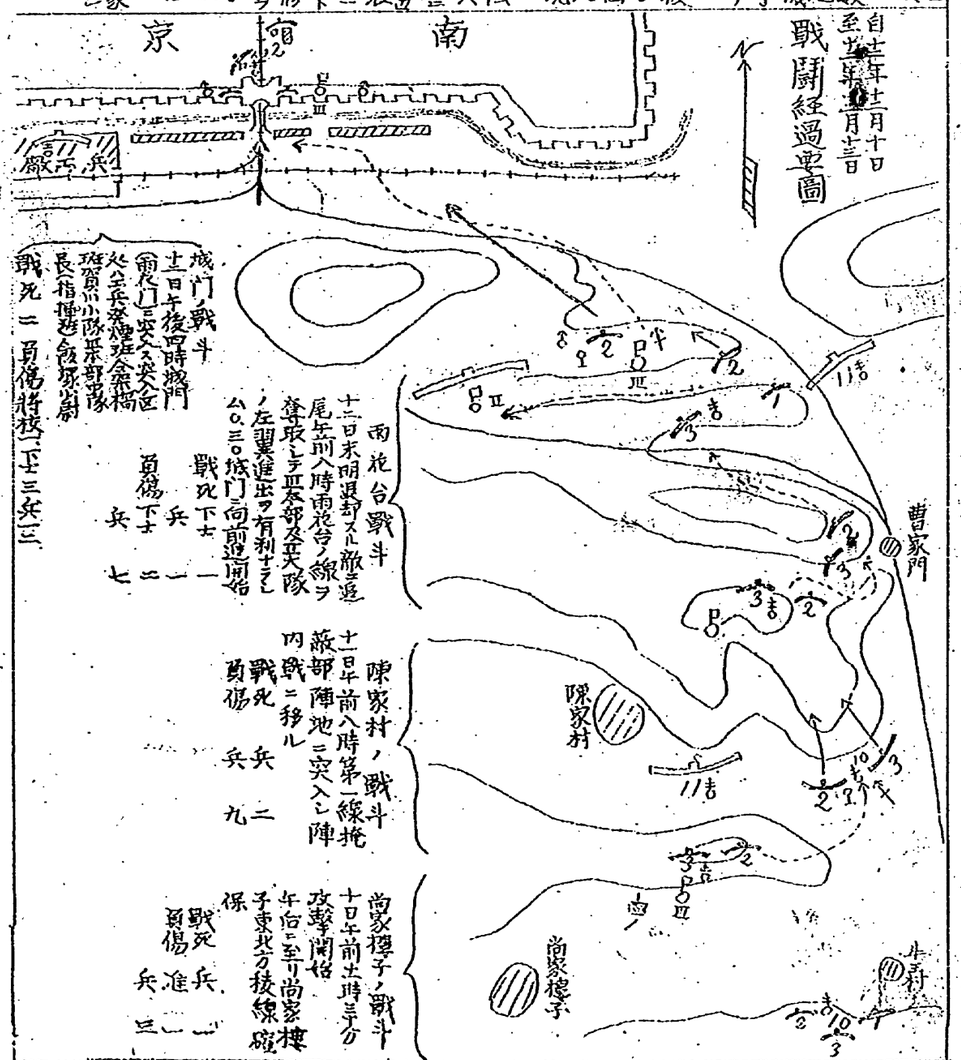
（十日ヨリ十三日迄ノ延數ヲ計上）

戰斗前後我形勢概要及戰斗ニ影響ヲ及ボシタル天候氣象地形等

敵ハ曾家門附近ヨリ沈毅線ノ堅固ナル既設陣地ヲ占領シ多數ノ輕重機迫撃砲ヲ以テ間斷ナク射撃シテ濃密ナル彈幕ヲ張リツヽアル我ハ上陸以來連續百餘粁ノ急速行軍直後ノコトトテ疲労其極ニ達シ且ツ彈藥糧食ノ補給困難ニシテ又火砲ノ掩護殆ント期待セラレザル悪情況下ニ攻撃ヲ開始セリ

戰場地形ハ起伏ニ富ミ陰蔽錯雜ナル台地ヨリ敵ハ二ノ地形ヲ利用シテ數線ニ亘リ鉄條網ヲ有スル堅固ナル陣地ヲ構築シ且巧ニ偽裝シアルタメ之レカ偵察ニハ特別困難ヲ感ジタリト雖モ反面ニ於テ此ノ地形ハ却テ我隠蔽接近接ヲ便ナラシメ一挙ニ突撃スルノ利点ヲ獲得シ比較的損害少クシテ奏功セルモノト云フヘシ

ボハモ無雨期ニテ氣象上影響ヲ及ボシタルモノナシ



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp